

ムハンマドについての 言 (下)

:

明:

イスラ ムについて学んだ非ムスリムの学者たちによる 言者についての 言。第3部: さらなる 言。

目: [事イスラ ムによる利益イスラ ム、ムハンマド、そしてクルア ンに する著名な人々による 言](#)

目: [事 言者ムハンマド彼の性格](#)

より: [iiie.net](#) (edited by IslamReligion.com)

日10 Nov 2014

集日 11 Jun 2017

ブリタニカ百科事典:

“ 大量の初期 料によれば、彼が他者の敬意と忠 心を得た、 かつ 直な人物であったとい うことが示されている。” (12)

ジョ ジ バ ナ ド ショ は彼についてこう述べています:

“彼は人 の救世主と呼ばれなければならない。私は、もしも彼のような人物が 代世界 において を握ったのであれば、必要とされている平和と幸福をもたらす方法によって の解 に成功するであろうと信じている。”

(The Genuine Islam, Singapore, Vol. 1, No. 8, 1936)

彼は地球上に生きた最も 大な人物です。彼は宗教を き、国家を 立して き上げ、 理を 定 し、数多くの社会的 政治的改革に着手し、その教えを 践 表 する力 く生き生きとした社 会を打ち立て、人 の思想と行 の分野において、永 的かつ完全なる革命をもたらしたの です。

言者ムハンマドは西 570年、アラビア半 に生まれ、真理の宗教イスラ ム（唯一神への服）を 40 歳で開始し、63 でこの世を去りました。彼が 言者を 命じた23年 の短い、彼はアラビア半 全体を多神崇 偶像崇 から唯一神への崇 へ、また部族 の 争から国家の 一と束へ、また 酒による酩酊状 および放 から 制さ 敬虔さへ、また 法 政府状 から 制された生活へ、また完全な破 状 から最高の 理的な 水 を持つ社会にまで 革させました。人 の 史は、いまだかつてこのような完全な ことを目の当たりにしたことがありませんでした。そしてこのような信じ い 化は、わずか20年余りにしてもたらされたのです。

世界史には多くの 人たちが存在しました。しかしそれらの人物は宗教思想や 事理的な 率 といった限られた分野において活 した人々でした。それらの 人の人生や教えは 時の流れ と共にすすんでいきます。彼らの 生や出身地、生き方、その教えの 性質、成功や失 の 尺度については 時に ち溢れており、人 が彼らの 言や教えを正 に再 することは不可能です。

しかし、ムハンマド（神の慈悲と祝福あれ）に してはそれが当てはまりません。彼は 人の 史上、思想や行 など多 多 な分野において最大限の ことを成し遂げました。彼の 人的な生活、公的な 言は正 に され、 在に至るまで手厚く受け がれています。それらの 言の正 性と信 性は、信仰者だけでなく、偏向的な批 家らによっても保 されているのです。

ムハンマドは宗教的指 者、社会的 革者、 理的指 、行政上の 人、信仰深い友人、素晴らしき仲 、献身的な夫、そして 情に ちた父 といった 面をすべて兼ね えていました。 史上、それらの なる 面のそれぞれにおいて彼に ぶ、あるいは超えた者は一人もいません。ムハンマドの 私 欲な性格が、それらの べき完全性を 成させたのです。

ムハンマドの性格について、マハトマ ガンジ は（『ヤング インディア』において）こ う述べています：

“私は、 在何百万人もの心を掴む人物についてよく知っておきたいと思いました 当 のイスラ ムの普及は により まったのではないと、私は今、これまでになく 信じています。 固で明快な教え、 言者の 尾の控えめな 度、誓 に しての律 さ、友人や教友たちへの 烈な献身、彼の大胆さ、勇敢さと、神と自身の任 への 的信 がそうさせたのです。彼は だ

はなくこれらによって、全てのそびえ立つ困 を り越えてきたのです。（言者 の）第2 を
み えたとき、私はこのような 大な人生について み けられないことが残念でした。”

ト マス カ ライルは『英雄と英雄崇 』において、次のような 愕の念を示しています：

“いかにして一人の男が、 立する 部族や放浪する 牧民たちをまとめあげ、20年もかけ
ずに最も 力かつ洗 された国家を ることが出来たというのだろうか？”

ディワン チャンド シャルマはこう します：

“ムハンマドは 切な心の持ち主であり、彼の影 力は、彼の周 の人々によって して忘れ
去られることはありませんでした。”

(D.C.シャルマ、The Prophet of the East, Calcutta, 1935, pp. 12)

ムハンマドは人 以上でも、人 以下でもありませんでした。彼はただ、唯一なる神を崇
するよう人 を させ、彼らに神の教えに基づいた、 かつ 直な人生を むよう教えるという
高 な使命を携えていた人物なのです。彼はいつも、自らを“神のしもべであり使徒で
ある”と形容していました。 に、彼のあらゆる行 はそれに基づいていたのです。

イスラ ムにおける神の御前での平等性について、インドの著名な女流 人、サロジニ ナ
イドゥは ります：

“それは、民主主 を いて 践した最初の宗教でした。モスクから礼 への呼びかけが り き
、人々が礼 のために集まると、一日5回、イスラ ムの民主主 が具 化し、そこでは 夫や国
王が平等に り合わせとなり、皆一 に「神は 大なり」と公言するのです。私は人々を本
能的に同胞とする、イスラ ムによるこうした分断することの出来ない 一性に、 度とな
く心を打たれました。”

(S. ナイドゥ、Ideals of Islam, vide Speeches & Writings, Madras, 1918, p. 169)

フルグロンジェ博士はこう述べます：

“イスラムの言者によってされた国家の合体は、普遍的な基に根付いた国的—and 同胞を他国に示すのである。”

彼はこう言います。“事として、世界中のいかなる国家も、イスラムがした国家の合体という概念に匹するものを示すことが出来ずにいるのだ。”

世界は、の中に消えてしまった人に神格性を持たせることを躊躇しませんでした。史的にても、それらの的な人はムハンマドが成したことの断片さえも成していないのです。そしてムハンマドが努力をした象とは、卓越した理的定に基づいて唯一神を崇めることにおいて人を一するということだけだったのです。ムハンマド、または彼の追者たちは一人として、彼が神の子であったとか、神の化身であったなどと主したことはありません。彼は在に至るまで常に、神によってばれた使徒であると なされ けてきたのです。

インド人の哲学教授であるK.S.ラマクリシュナラオは、その小子（“Muhammad, The Prophet of Islam”）の中でこう述べています：

“（ムハンマドは）人生における完璧な模である。”

ラマクリシュナラオ教授は、その主についてこのように明します：

“ムハンマドの人格については、その全容を把握することはめて困です。私にはそのほんの一部を垣ることしか出来ません。しかし、それはいかに的な景ののでしょうか！まずは、言者としてのムハンマド。そして士としてのムハンマド、商人としてのムハンマド、政治家としてのムハンマド、雄弁家としてのムハンマド、改革者としてのムハンマド、孤の庇者としてのムハンマド、奴の保者としてのムハンマド、女性の解放者としてのムハンマド、裁判官としてのムハンマド、人としてのムハンマド。これらの大なる役割のあらゆる域において、彼は英雄なのです。”

彼の死から14世がった在でも、ムハンマドの人生と彼の教えは、いかなる削改歪曲から守られてきました。それらは彼が生きていた当と同じに、人の病をす不の希望をします。これはムハンマドの追者たちによる主ではなく、批家や偏向のなき史による最的

な なのです。

思想と 心を持つ人 の一人として私たちに出来ることは、一度立ち止まり、自らにこう
いかけることです。「これらの くべき、そして画期的な主 は、本当に事 なのだろうか
？」もし本当にそれらが事 だとして、まだムハンマドについて知らなかった、もしくは
は いたこともなかったのであれば、これを 好の 会として、少し彼を知る努力をしてみ
てはいかがでしょうか？

ひよっとすると、それはあなたの人生における全く新しい幕 けのきっかけとなるかも
しれません。

この 事のウェブアドレス:

<https://www.islamreligion.com/jp/articles/203>

著作 2006-2015 断 を禁じます。 2006 - 2023 IslamReligion.com. 断 を禁じます。